

(2) 展開

時配 (分)	学習活動と内容 ◎教師の発問 ・子どもの反応	○支援 ☆評価 (方法)							資料
		A児	B児	C児	D児	E児	F児	G児	
2分	1 本時のめあてを確認する。	○本時のめあてが視覚的に分かるように、単元計画表を掲示しておく。 買い物たいけんをしよう。							単元計画表
3分	2 学習の予定を知り、活動の見通しをもつ。 ① 買い物メモを見て、1000円以内に収まるように計算をしながら商品を選ぶ。 ② 合計金額を計算する。 ③ レジに行く。 ④ 振り返り	○本時の学習の流れの見通しをもつことができるように、本時の学習の流れを提示する。							学習の流れ
3分	3 前時で決めた「買い物の極意」を確認する。	○目的意識をもって取り組むことができるように、前時の振り返りの場面で決めた「買い物の極意」を確認する。							「買い物の極意」
25分	4 1000円以内に収まるように買い物をする。 買い物メモに商品の値段を書く。商品カードをかごに入れる。合計金額を計算する。レジに行く。ホワイトボードに買った商品カードを貼り、合計金額を書く。	○値段や計算の書き間違いがないかをその都度確認するように伝える。 ○商品の値段の足し忘れがないかを自分で確認することができるように、買い物メモのチェック欄に印をつけたかを聞く。	○時間を意識して買い物ができるように、タイマーを提示する。 ○どの商品を買えば良いか悩んでいる場合は、あと何円分買うことができるかを計算するように伝える。	○値段や計算の書き間違いがないかをその都度確認するように伝える。 ○商品の値段の足し忘れがないかを自分で確認することができるように、買い物メモのチェック欄に印をつけたかを聞く。	○どの商品を買えば良いか悩んでいる場合は、あと何円分買うことができるかを計算するように伝える。	○活動の見通しをもつことができるように、買い物をする前に一度教師と一緒に流れを確認する。 ○繰り上がりのある足し算の計算に悩んでいる際には、本人と一緒に計算方法を再度確かめる。	○どの商品を買えば良いか悩んでいる場合は、あと何円分買うことができるかを計算するように伝える。	○時間を意識して買い物ができるように、タイマーを提示する。 ○どの商品を買えば良いか悩んでいる場合は、あと何円分買うことができるかを計算するように伝える。	買い物メモ バインダー 買い物カゴ 商品カード ホワイトボード
		☆たし算やひき算の筆算、かけ算を使って、1000円以内に収まるように買い物をすることができたか。 (観察・ワークシート)			☆たし算、ひき算、かけ算の筆算を使って、1000円以内に収まるように買い物をすることができたか。 (観察・ワークシート)			☆商品の値段を見積もって計算(概算)をし、1000円以内に収まるように買い物をすることができたか。 (観察・ワークシート)	

10分	<p>5 振り返り</p> <p>◎自分の今日の買い物はどうでしたか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良かったところは、正しく計算をすることができたところです。</li> <li>・上手くいかなかったところは、値段を間違えてメモしてしまったところです。</li> </ul> <p>新たな「買い物の極意」を決める。</p>	<p>○子どもたちが良かったところ、もしくは上手くいかなかったところを整理することができるように、振り返り用のチェックシートを提示する。</p> <p>○発表の仕方が分かるように、「良かったところは、○○です。」「上手くいかなかったところは○○です。」という例文を提示する。</p> <p>○子どもたちが新たな「買い物の極意」を考える手がかりとなるように、黒板に子どもたちの発表をまとめておく。</p>	<p>チェックシート</p> <p>「買い物の極意」</p>
2分	<p>6 次時の予定を知る。</p>	<p>○提示してある単元計画表を使って、次時はスーパーマーケットに行くことを確認する。</p>	<p>単元計画表</p>

会場図（オープンスペース）

